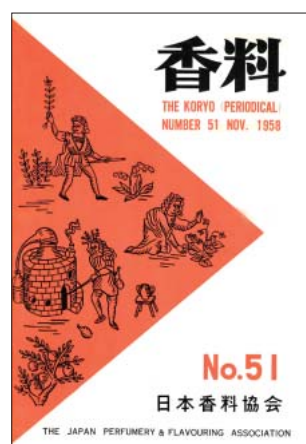


第51号 1958.10

食物の香とイオウ化合物（山西貞）  
ソルビトールの新利用法の展望（橋本庸平・林敬一郎）  
柑橘系精油中のクマリン誘導体(II)（吉用利男）  
昭和32年度香料生産輸出入高  
台湾の香茅油(I)（甫立西）  
香港雑感(東南アジア視察記 その1)（山崎三吉）



第52号 1959.1

たばこ香料概説（森下功）  
濾紙及びガスクロマトグラフィーによるヒノキチオール製剤の試験法（林敬一郎・今枝浩一・橋本庸平）  
精油製造に際しての蒸溜ーラベンダーの蒸溜を中心としてー（伊藤昌明・手島竜雄）  
CapillenとDehydro agropirenの問題（上田照夫）  
台湾の香茅油(II)（甫立西）  
文献季報  
ヨーロッパの70日（永井嘉彦）

第53号 1959.4

嗅覚の意義特に臨床的嗅覚分類法について（市原正雄）  
最近におけるヨノンに関する研究（松倉十一）  
ラベンダーの撰択（外山孟生）  
ドイツは何を食べて戦った？（諸江辰雄）  
今日的天然精油のあれこれ（山下武夫）  
最後の騎乗（坂野穰）  
南国の香り豊かな八丈島遊覧記（馨南生）  
昭和33年度1月～12月全国化粧品出荷実績表  
動物臭で巨万の富  
木犀の香り

第54号 1959.7

においの心理（平泉貞吉）  
わが国の精油研究の発端（村山義温）  
香料と繊維（中央香料株式会社研究部）  
ビタミンC、ソルビトール蛋白質（稲垣長典）  
ガスクロマトグラフによる植物精油の研究（入江守・高木宏・高砂輝夫）  
魚類の嗅覚とその生態上の意義（塚本芳和）  
昭和33年香料生産、輸出入高

第55号 1959.10

葉たばこ精油成分に関する研究（大西勲）  
香料とアレルギー（高橋正夫）  
薄荷脱脳油中のアルコール部分について（小松昭）  
ガスクロマトグラフィーによる香料の研究（正田芳郎・小畑繁雄・西田泰雄）  
忘れられた芸術家（貞弘衛）  
香料食品の研究(3)（白石昌美）  
エッセンス生産高

第56号 1959.12

香稀水用香料（宮下右）  
唇形科イヌコウジュ属の精油（藤田安二）  
原料を中心とした合成香料化学(クレゾール)（桂樹日出雄）  
テルペンはアセトンから出来るか（山下岩男）  
脂肪族テルペン系物質の酸触媒による閉環及び新香料物質ジメチルオクリン誘導体について（山部人道）  
夏山の匂（長沢徹）

第57号 1960.3

日本薄荷（長沢徹）  
ハッカ属の問題（藤田安二）  
香稀水用香料（宮下右）  
グラスの香料（外山孟生）  
原料を中心とした合成香料化学(17) (クレゾール)（桂樹日出雄）  
乾燥方法について(香料を含めて)（大田政二）

第58号 1960.6

沈香の説（平泉貞吉）  
ハッカ属の問題(その2)（藤田安二）  
薄荷属種間雑種の精油成分に関する研究(第一報)（池田長守・清水純夫）  
日本産ゼラニウム油の特性について（長沢徹・是沢儀明）  
動物と「におい」（塚本芳和）  
グラスの香料(その2)（外山孟生）

第59号 1960.9

香料の皮膚に対する刺戟作用と香料の色素沈着に及ぼす作用機点に関する考察（外池栄一）  
ワサビの化学的研究（長沢徹）  
ハッカ属の問題(その3)（藤田安二）  
ベチバーに関する二、三の研究（手島道明）  
香料自由化と日本合成香料の進路（樋口幸夫）  
第4回香料テルペン及び精油化学に関する討論会に出席して（富樫英一）

第60号 1960.11

古典ゲラニオールの再検討（岡沢辰造）  
昆虫類の誘引香料について（北島正栄）  
Chypreの調合用香料（宮下右）  
薄荷に関する研究 和種薄荷万葉の成分について（古儀英記・勝原淳・小林正久）  
テルペン類の生合成（藤田安二）  
ハマナス花精油に関する研究(I)（衛藤次男・塩崎亨）  
ハーシー・タウンの三日間（山崎三吉）  
昭和34年度香料生産輸出入高